

# 国際化と国際交流推進に関する基本方針

高崎健康福祉大学

急速に進む社会の国際化を背景とした教育研究環境のグローバル化の流れを受けて、文部科学省や中央教育審議会（答申）は大学の国際化推進を大学教育の最重要課題のひとつとして位置づけている。また特に、大学間協定を通じた学生および教職員の交流を極めて強く奨励している。本学は「人類の健康と福祉に貢献する」を建学の理念として、人々の幸せをトータルに見つめることのできる包括的視野を有する人材の養成を目指しているが、“大学を国際化し、国際的な視野と経験を備える学生を育成すること、医療の国際化に対応できる人材を育成すること、大学の先進的教育および保健・医療・福祉研究の成果を国際社会へと還元すること”が社会の要請であり、本学の理念に沿った責務であることは明白である。

このような状況を勘案し、本学では以下のような「国際化と国際交流に関する基本方針」を定める。  
(数値目標は2020年までの達成目標)

## 1. 教育の国際化

- ・ 世界で活躍できる国際性豊かなグローバル人材を育成するために、英語力をはじめとした語学教育の充実を図る（実用英語検定2級以上またはTOEIC650点以上獲得者、毎年30名以上）
- ・ 保健・医療・福祉・教育の国際化に対応できる人材を養成するために、K I P (Kendai International Program)\*の充実と推進を図る（年間派遣学生数100名、受入数70名以上）
- ・ 学生の海外留学や国際ボランティアなど、国際的な視野を広げ、経験を豊かにする活動を積極的に支援する

## 2. 研究の国際化

- ・ 海外の大学・研究機関・医療機関・福祉施設等との連携を強化し、研究者の学術交流や国際共同研究を支援する
- ・ 国際化のための研究環境および支援体制を整備する
- ・ 研究成果の海外への発信を支援し、保健・医療・福祉・教育分野の発展に貢献することを目指す

## 3. キャンパスの国際化

- ・ 意欲のある正規留学生の獲得、海外提携大学からの長・短期留学生の受入れを促進する
- ・ 外国人教員および研究者に対する支援体制を整備する
- ・ 海外からの留学生や研究者と本学学生・教職員が深く交流できるよう環境の整備に努める
- ・ 海外の大学との積極的な連携・提携を推進し、健康福祉の国際拠点大学としての地位を構築する

\*海外提携校との学生（および教員）の相互派遣プログラム